

児童文学作家 村中 李衣

岡山の小学生・中学生の読書体験は、他県の小中学生に比べて、非常に豊かであることは、いろんなデータで裏付けされた、岡山の未来を支える財産です。これには、学校図書館・公共図書館で永年積み上げられてきた学校司書さんの目配りある支援の賜物です。この全国に誇れる読書環境レベルを落とさぬよう、みんなで応援していきたいと思っています。中学生・高校生の読書力は、いうまでもなく小学校の延長にあり、継続的な支援が不可欠です！断ち切れることのない支援を求めます。

歴史家 磯田道史

小学校の図書館で、鎌倉将軍 源実朝が甥に斬りつけられるところを読んで、チャイムに気づかず、教室におくれて授業に間に合わなかったことがあります。本に夢中になれるのは幸せな時間でした。それから、どんな学校に行っても全部の本にさわるか開くか読むことにしています。このごろ学校図書館で古い本の処分が顕著で、昔あった漱石全集がなくなっていたりして悲しい。新旧いろんな本があるといいですね。

児童読物作家 堤しゅんぺい

情報化社会になっていけばいくほど、情報の量は増えていきます。その膨大な情報を整理し、選択し、活用することの重要性はこれからの世界では必要不可欠な要素でしょう。子どもたちと、その情報をうまくつなぐことのできる仕事は、学校司書さんをおいて他にはありません。活字を中心とした情報のコンシェルジュとして、それにふさわしい立場が必要です。

日本民話の会会長 立石憲利

子どものころの読書活動が多いと、大人になってからの「未来志向」「社会性」「自己肯定」「文化的作法・教養」「市民性」の意識や能力が高くなる。国立青少年教育振興機構の調査研究で明らかになった。

子どもの読書活動に直結する学校図書館の役割は、大人社会に大きな影響を与えるもので重要である。学校図書館の充実—図書購入費の増額と学校司書の正規職員化、待遇改善は実現させるべき重要課題だ。

大学非常勤講師 高見京子

子どもたちの豊かな成長の糧として、学校図書館の存在は欠かせません。

学びを支える沢山の資料や、想像力をかきたてる楽しい本もいっぱい、子どもたちにとって憩いの場所でもあります。

それらを子どもたちと結びつけている中心に学校司書がいます。

岡山市は全国に先駆けて、学校図書館に学校司書を配置してきました。

法律改正で、その学校司書たちが、勤め続けにくくなることのないように、図書館に行っても閉まっているとか誰もいない、ということのないように、今までのように、岡山市の学校図書館に司書たちがいて、楽しい場であり続けますよう、強く求めます。